



2022年8月23日

各 位

トナミホールディングス株式会社  
伊藤忠エネクス株式会社  
有限会社佐藤石油店

## 新たな給油拠点を活用した 「リニューアブルディーゼル」の幹線輸送での実証利用を開始

特別積合せ事業者(拠点間幹線輸送の大型車)のリニューアブルディーゼルの日本初導入

トナミホールディングスグループの中核会社であるトナミ運輸株式会社(本社:富山県高岡市、代表取締役社長:綿貫勝介、以下「トナミ運輸」)、伊藤忠エネクス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田賢二、以下「伊藤忠エネクス」)、有限会社佐藤石油店(本社:愛知県海部郡、社長:佐藤純、伊藤忠エネクス販売店、以下「佐藤石油店」)は、カーボンニュートラルに向けた取り組みとして、新たに「リニューアブルディーゼル(Renewable Diesel、以下「RD」)」の給油拠点を佐藤石油店の飛島トラックステーションに設置し、この RD 給油拠点を活用したトナミ運輸の幹線輸送での実証利用を開始します。

トナミ運輸は、8月23日より、相模支店(神奈川県海老名市の RD 給油拠点の最寄り)と中京エリアの事業所(愛知県飛島村の RD 給油拠点の最寄り)間の運行ルートにおいて、従来の軽油に代わる代替燃料として RD を使用し、利用可能性を実証検証します。特別積合せ事業(拠点間幹線輸送の大型車)の RD の使用は、国内業界で初めてとなります。本取組は、伊藤忠商事株式会社が NESTE 社と RD の日本国内向け輸入契約を締結、伊藤忠エネクスが国内の RD 輸送及び給油に係る一連のサプライチェーンの構築を行ったことにより実現したものです。

NESTE 社の RD は、食品競合のない廃食油や動物油等を原料として製造され、ライフサイクルアセスメントベースでの GHG 排出量で石油由来軽油比約 90%削減を実現いたします。RD は主に輸送用トラック・バス等での使用が期待され、いわゆる「ドロップイン」燃料として、既存の車両や給油関連施設をそのまま利用開始することが可能です。既に欧米を中心に、広く流通実績があります。脱炭素施策に係るコストを最小限に抑え、GHG 排出削減にも大きく貢献できる「次世代リニューアブル燃料」として、今後の陸上輸送分野での更なる利用拡大が期待されます。

トナミホールディングスグループは、EV トラックの導入や物流施設での太陽光発電の展開な

どの環境活動を通じて、持続的な発展に努めております。今後も長期的視野に立った気候変動への更なる取り組みを推進し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

伊藤忠エネクスは、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、エネルギー企業としてエネルギーの安定供給を行うとともに、今後も環境負荷低減商材やサービスの普及に努め、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

〈佐藤石油店 飛島トラックステーション〉

住所:愛知県海部郡飛島村竹之郷 6 丁目93

アクセス:梅之郷 IC(名四国道)から車で 4 分



リニューアブルディーゼルを使用する運行車

お問合せ先 トナミホールディングス株式会社 経営企画室

TEL:0766-32-1850

伊藤忠エネクス株式会社 産業ビジネス部門

環境ビジネス部 リニューアブル燃料課

TEL:03-4233-8094

有限会社佐藤石油店

TEL:0567-55-0732